

ごみ減量化に関する

アンケート結果

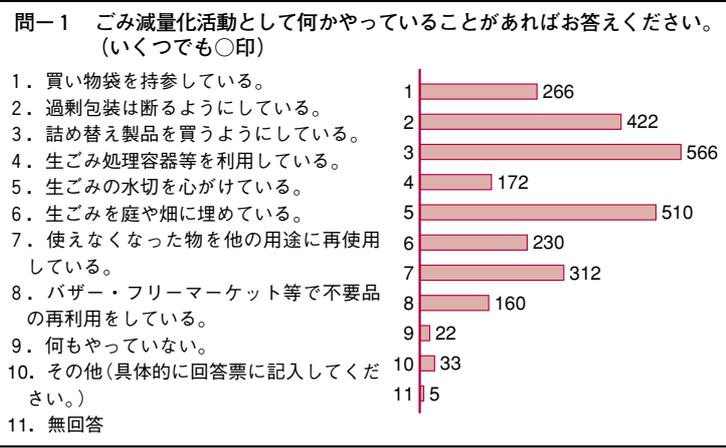
指定袋導入に
賛成49%、反対43%

昨年の10月に各戸配布により実施したごみの減量化や指定袋の導入についてのアンケート結果をお知らせします。10、560世帯に調査用紙を配布し、そのうち807件(7.6%)の回答がありました。ご協力ありがとうございました。

指定袋導入については、「実施しても構わない」と「実施はやむを得ない」を合わせると49%となり、「実施すべきでない」の43%を上回る結果となりました。

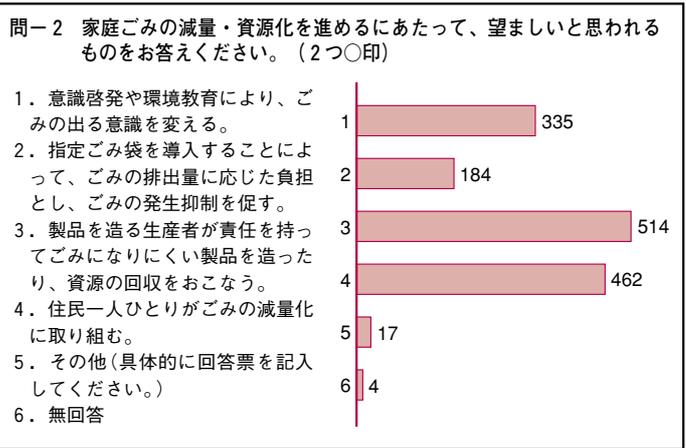
(問1) ごみ減量化活動として何かやっていること

「詰め替え製品を買うようにしている」が566件、「生ごみの水切りに心がけている」が510件と多くなっています。ほとんどの方が何らかのごみ減量化活動を行っており、意識の高さがうかがえます。

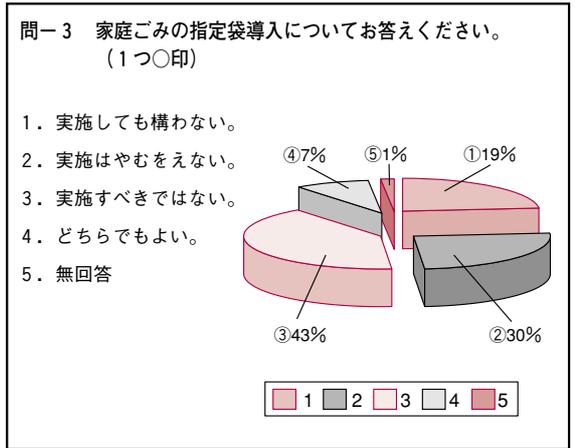


(問2) 家庭ごみの減量・資源化を進めるにあたって、望ましいと思われるもの

「製品を造る生産者が責任を持ってごみになりにくい製品を造ったり、資源の回収を行う」が514件と最も多く、次に「住民一人ひとりがごみの減量化に取り組む」が462件となっています。



(問3) 家庭ごみの指定袋導入について



指定袋導入については、「実施しても構わない」が19%、「実施はやむを得ない」が30%で、これを合わせると49%となり、「実施すべきでない」の43%を上回っています。

(問4) 問3で1・2と回答した方の主な理由

指定袋導入を実施しても構わない・やむを得ないの理由としては、「減量化が促進され環境への負荷がより軽減される」が166件で最も多く、続いて「ごみの減量化によりごみ処理費用を削減できると思われるから」が155件となっており、ごみ減量化による効果を期待していることがうかがえます。

